

3. 生活や仕事のこと

第1回及び第2回調査の結果から、「就労や収入」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには「若者の就労」や「女性がこれまで以上に活躍できる環境」、「高齢者の就労」などが課題として挙げられることが明らかになってきました。

ここでは、「生活や仕事のこと」をテーマとして質問した「女性就労についての考え方」、「出勤時刻、帰宅時刻、通勤時間」、「希望する就業時間」などの集計結果について記載しています。

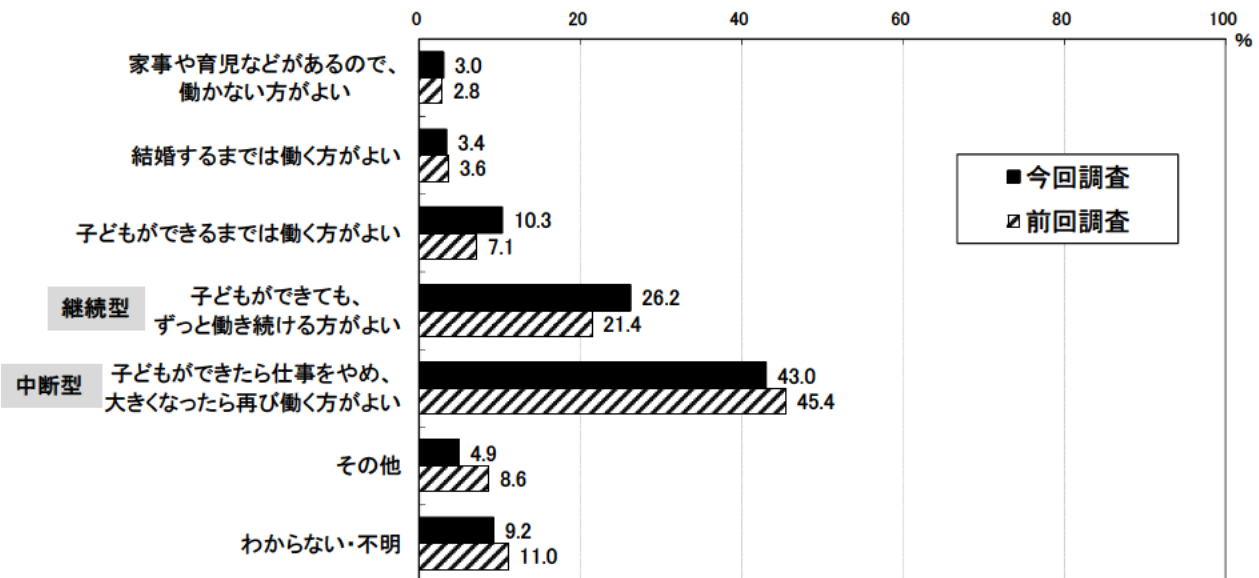
項目	質問文の概要
女性就労についての考え方	・女性が働く（収入のある仕事をする）ことについて、あなたはどのように思いますか。 (問4)
女性就労についての考え方（仕事と子育てが両立しやすい場合）	（問4で、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び働く方がよい」と回答した方に） ・もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとするならば、どのように考えますか。 (問4 - 2)
職業	・あなたの主な職業は何ですか。 (問5)
出勤・帰宅時刻、通勤時間	・通常、仕事のために家を出る時刻、家に帰る時刻、通勤時間はどのくらいですか。 (問5 - 3)
希望する就業時間	・もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。 (問3)
就業時間	・通常、一週間に働く時間（残業時間を含み、通勤時間は除く）はどのくらいですか。 (問5 - 2)
（参考集計） 就業時間の希望と現状	・就業時間の希望（問3）と現状（問5 - 2）との関係

女性が働く（収入のある仕事をする）ことについて、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ） (問4)

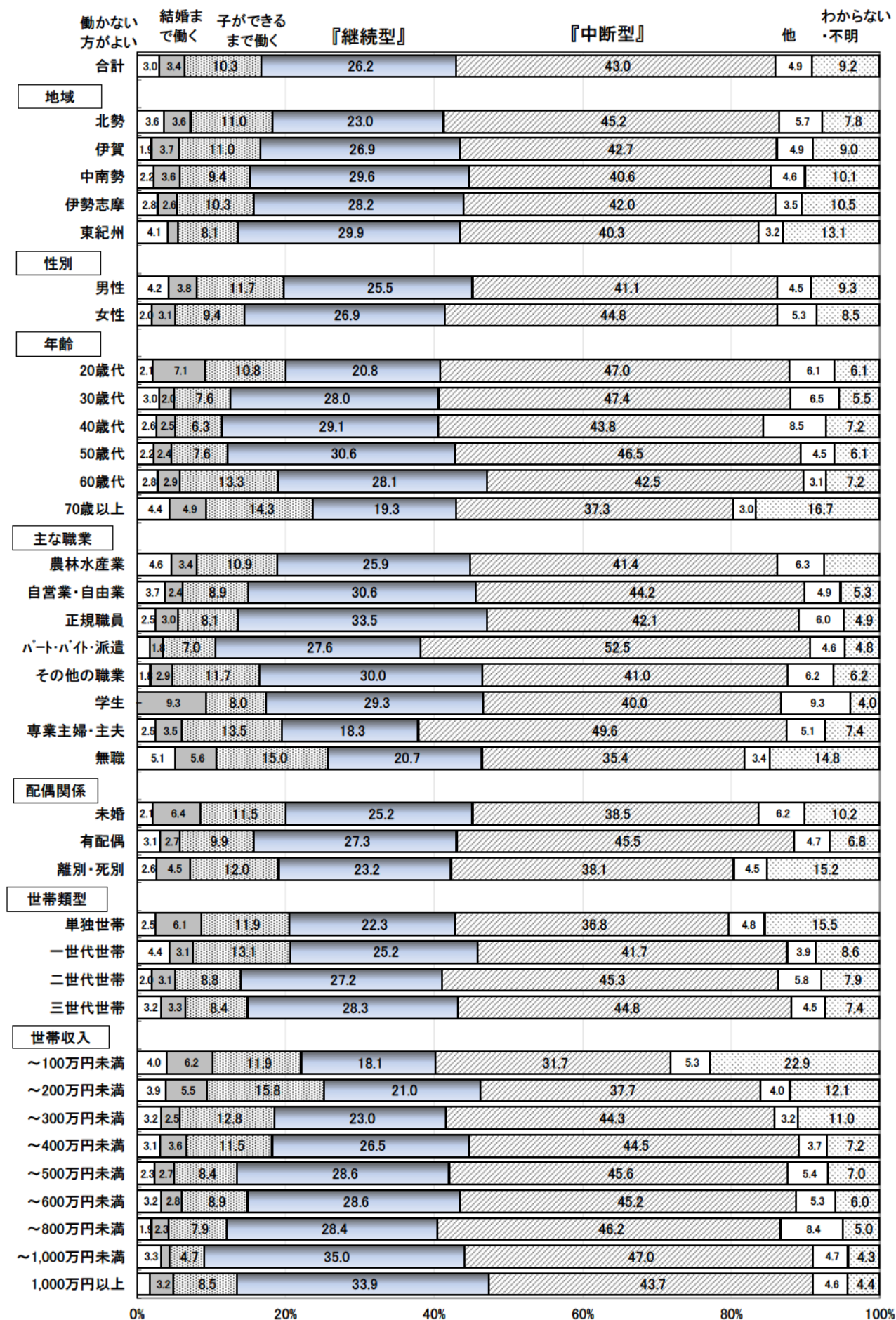
➤ 女性就労についての考え方

- 女性が働くことについてどう思うか質問したところ、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び働くほうがよい」の『中断型』が43.0%と最も高く、次いで「子どもができて、ずっと働き続けるほうがよい」の『継続型』（26.2%）となっています。
- 前回調査と比較すると、『中断型』と『継続型』の順位に変更はありませんが、『中断型』が2.4ポイント低くなった一方、『継続型』は4.8ポイント高くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）
 - ・20歳代は『継続型』が全体より5.4ポイント低い。
 - ・パート・アルバイト・派遣社員は『中断型』が全体より9.5ポイント高い。
 - ・専業主婦・主夫は『中断型』が全体より6.6ポイント高く、『継続型』が7.9ポイント低い。

図表 2-3-1 女性就労についての考え方



図表 2-3-2 女性就労についての考え方(属性別)



0% 20% 40% 60% 80% 100%

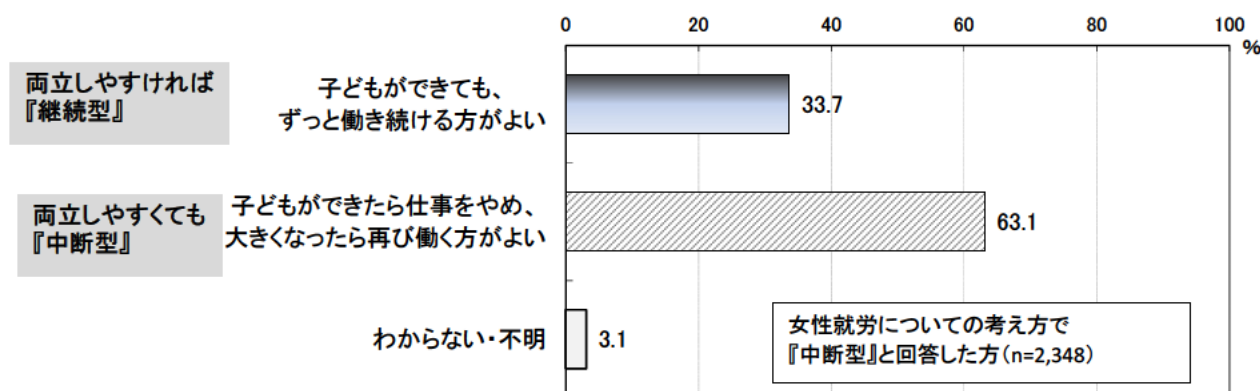
(女性就労についての考え方の質問で、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び働く方がよい」と回答した方に)

もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとするならば、どのように考えますか。(〇は1つだけ) (問4-2)

➤ 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立しやすい場合)

- 女性就労についての考え方の質問について『中断型』と回答した方に、仕事と子育てが両立しやすい場合の考え方を質問したところ、「両立しやすければ『継続型』」の割合が33.7%、「両立しやすくても『中断型』」が63.1%となっています。

図表 2-3-3 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立しやすい場合)

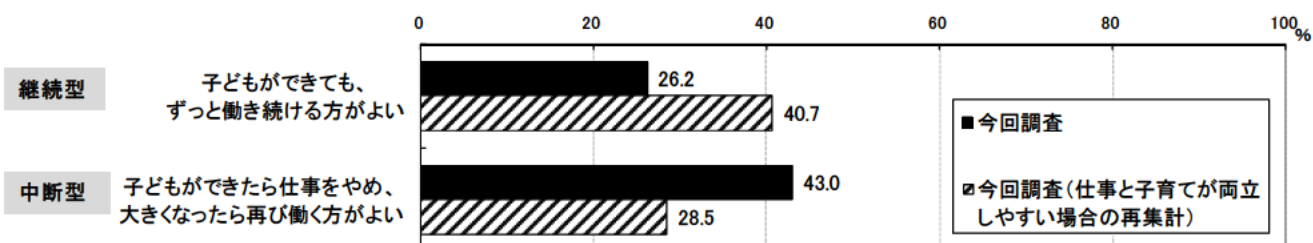


➤ 女性就労についての考え方の再質問(仕事と子育てが両立しやすい場合)を含めた集計

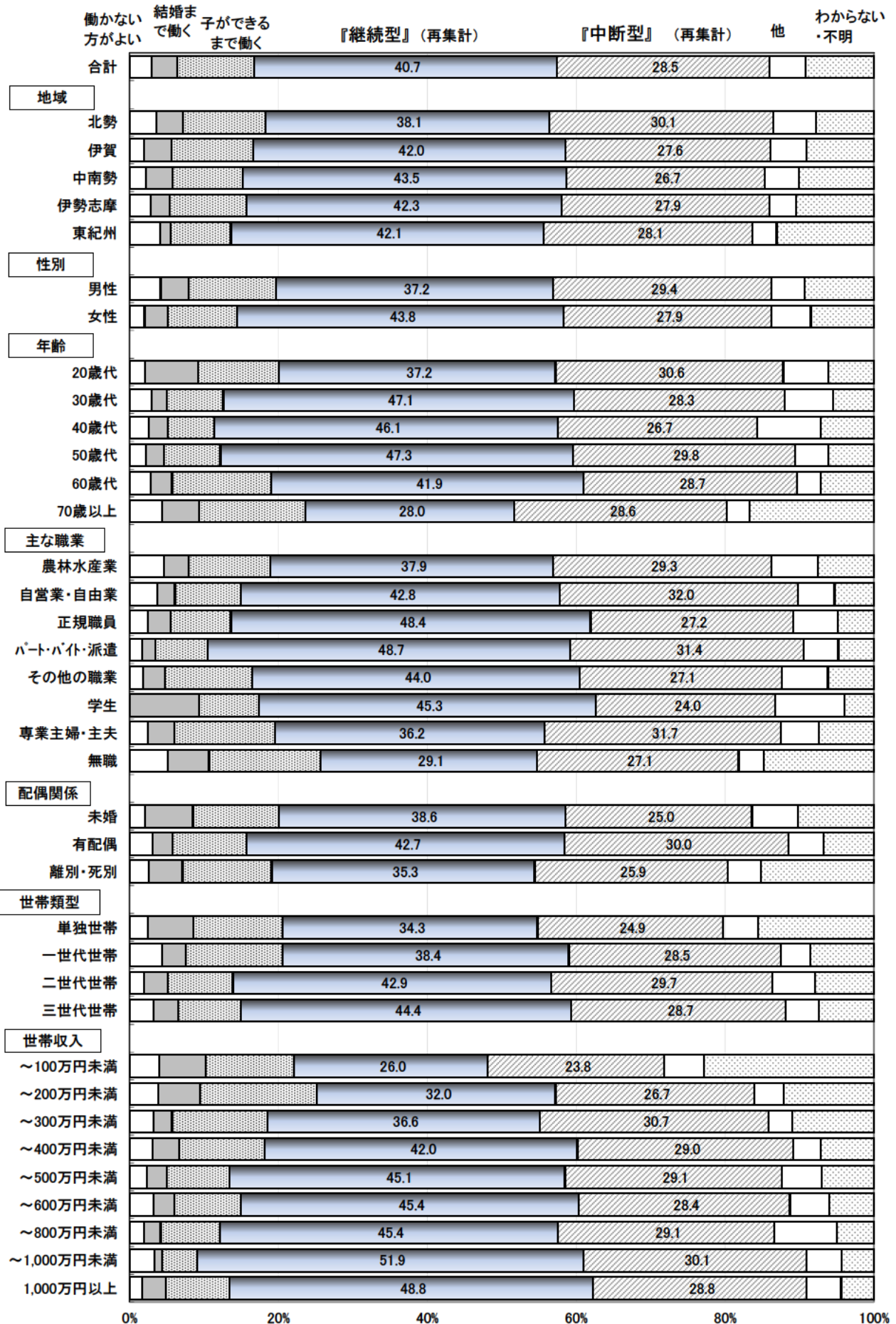
- 女性就労に対する考え方について、『中断型』と回答した方に対する仕事と子育てが両立しやすい場合の再質問を含めて集計すると、『継続型』の割合が26.2%から40.7%へ14.5ポイント増加し、『中断型』の割合が43.0%から28.5%へ14.5ポイント減少することになります。

- ・性別では女性は『継続型』が男性より6.6ポイント高くなっています。
- ・30歳代から50歳代までは『継続型』が全体より5ポイント以上高くなっています。

図表 2-3-4 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立した場合の再質問を含めた集計)



図表 2-3-5 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立した場合の再質問を含めた集計)(属性別)



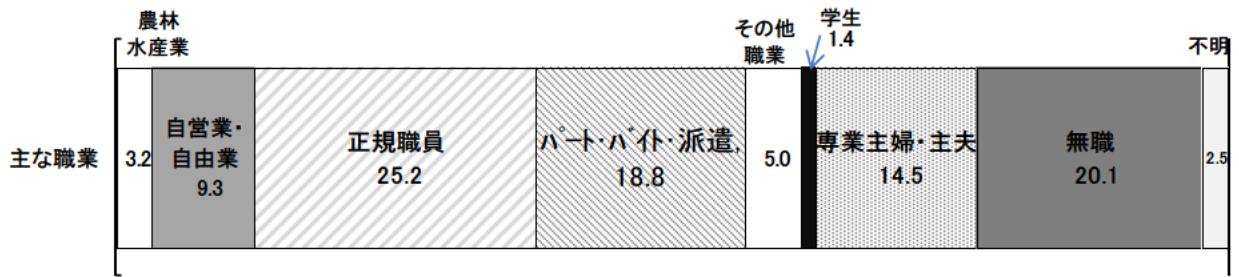
あなたの主な職業は何ですか。(〇は1つだけ)

問5

➤ 主な職業

○ 主な職業の構成割合は、「農林水産業」が 3.2%、「自営業、自由業」が 9.3%、「正規職員」が 25.2%、「パート・アルバイト・派遣社員」が 18.8%、「その他の職業」が 5.0%、「学生」が 1.4%、「専業主婦・主夫」が 14.5%、「無職」が 20.1%となっています。

図表 2-3-6 主な職業



(問5の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

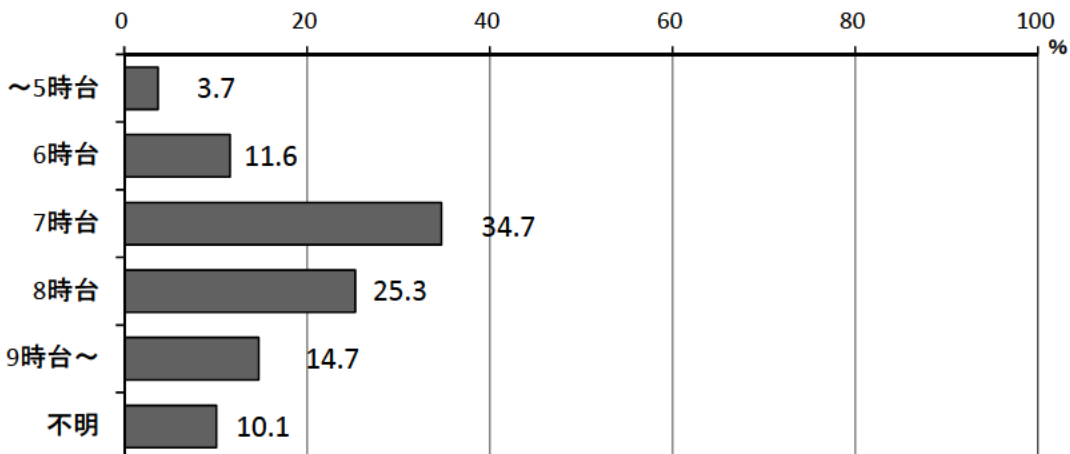
通常、仕事のために家を出る時刻、家に帰る時刻、通勤時間はどのくらいですか。

問5-3

➤ (1) 出勤時刻

○ 仕事のために家を出る時刻を質問したところ、7時台 (34.7%)、8時台 (25.3%) の順に高くなっています。平均の時刻は8時1分となっています。

図表 2-3-7 出勤時刻

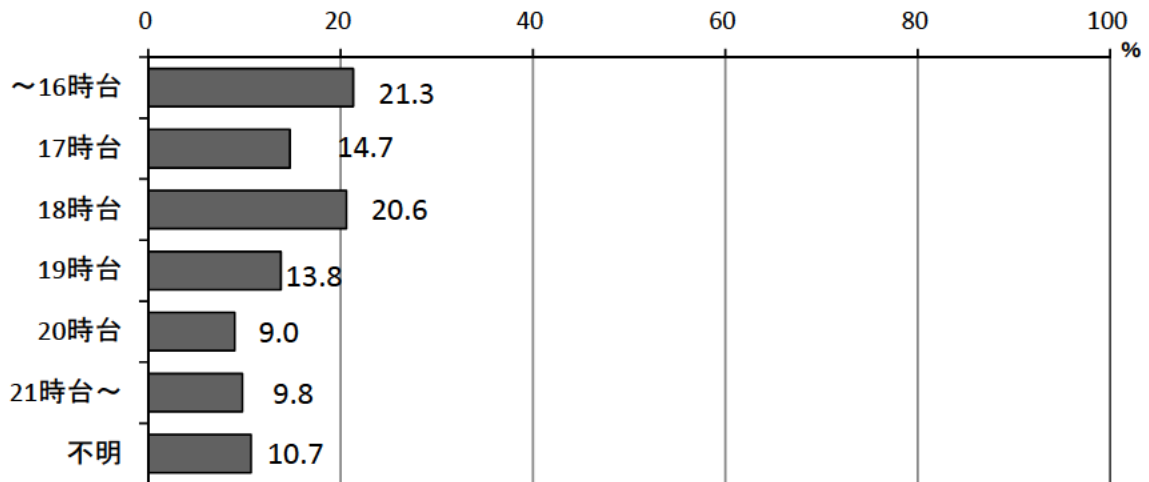


※0時から5時59分までを「~5時台」、9時から23時59分までを「9時台~」としています。

➤ (2) 帰宅時刻

- 仕事から家に帰る時刻を質問したところ、平均時刻は17時45分で、16時台までの割合が21.3%で最も高くなっています。

図表 2-3-8 帰宅時刻

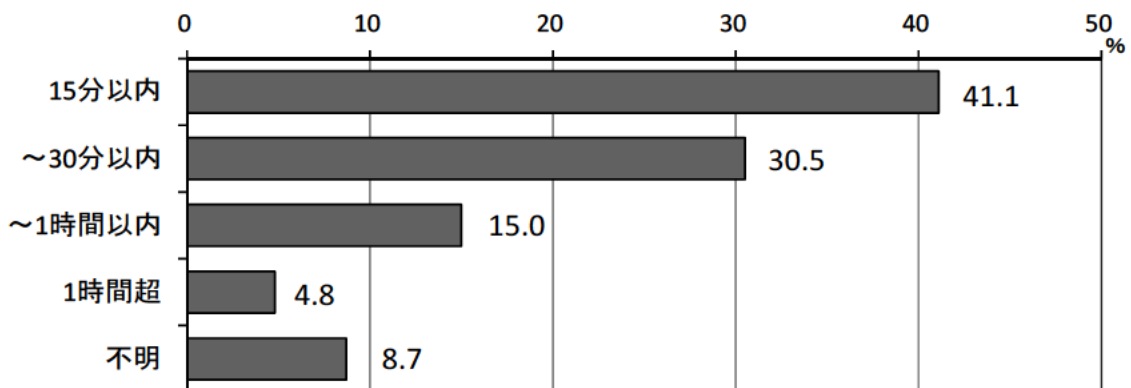


※0時から16時59分までを「~16時台」、21時から23時59分までを「21時台~」としています。

➤ (3) 通勤時間

- 通勤時間の平均は25分で、「15分以内」が41.1%、「16分以上30分以内」が30.5%、「31分以上1時間以内」が15.0%、「1時間超」が4.8%となっています。

図表 2-3-9 通勤時間



もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。
 (○は1つだけ) (問3)

➤ 希望する就業時間

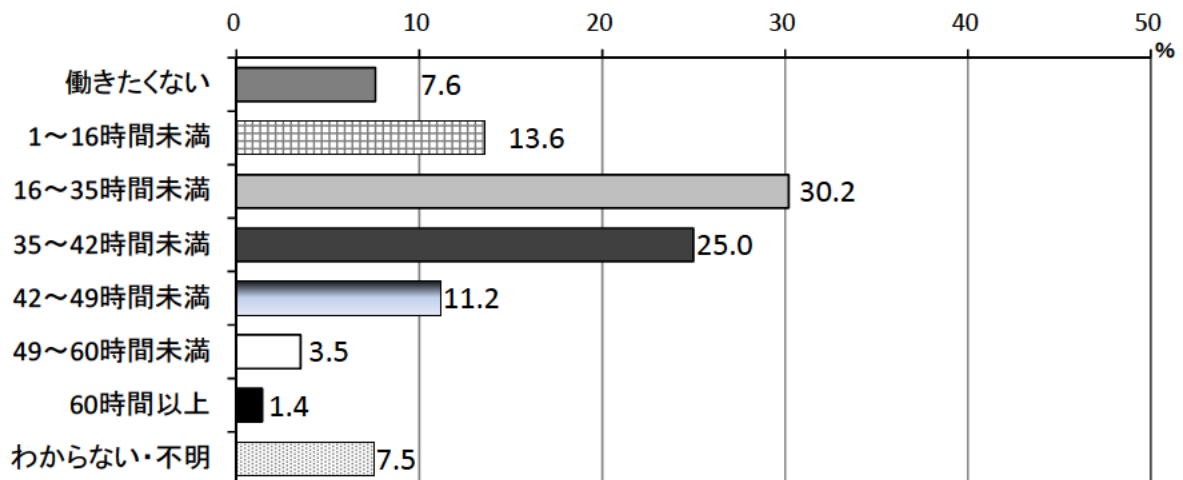
○ 希望する就業時間（1週間）を現在働いていない方も含め全員に質問したところ、「16～35 時間未満」の割合が 30.2%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（25.0%）、「1～16 時間未満」（13.6%）の順となっています。

また、「働きたくない」の割合は 7.6%、「60 時間以上」は 1.4%となっています。

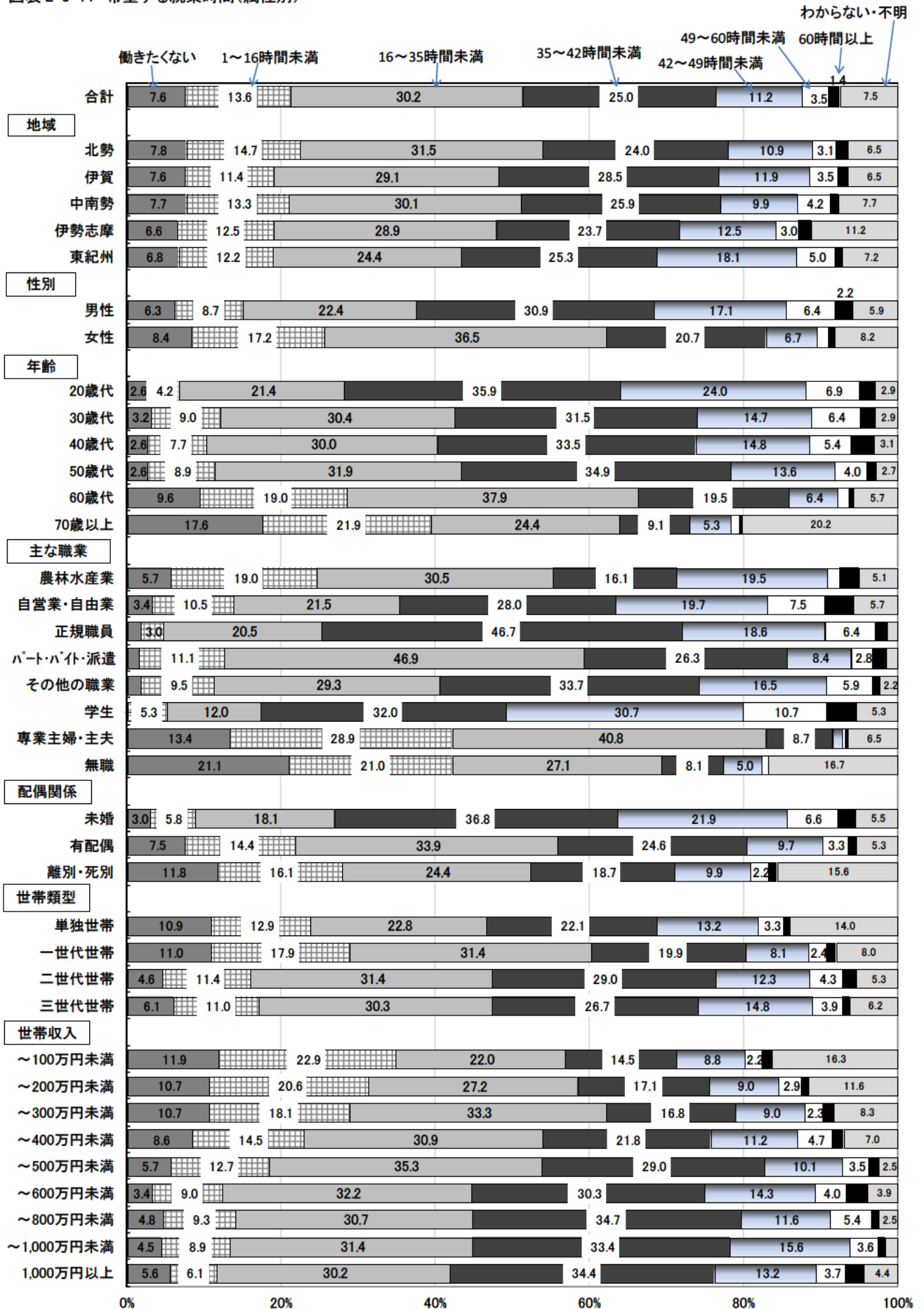
○ 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

- ・男性は「35～42 時間未満」が 30.9%で最も高く、次いで「16～35 時間未満」（22.4%）、「42～49 時間未満」（17.1%）の順。
- ・女性は「16～35 時間未満」が 36.5%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（20.7%）、「1～16 時間未満」（17.2%）の順。
- ・パート・アルバイト・派遣社員は「16～35 時間未満」が 46.9%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（26.3%）、「1～16 時間未満」（11.1%）の順。
- ・専業主婦・主夫は「16～35 時間未満」が 40.8%で最も高く、次いで「1～16 時間未満」（28.9%）、「働きたくない」（13.4%）の順。
- ・無職は「16～35 時間未満」が 27.1%で最も高く、次いで「働きたくない」（21.1%）、「1～16 時間未満」（21.0%）の順。

図表 2-3-10 希望する就業時間



図表 2-3-11 希望する就業時間(属性別)



(問5の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

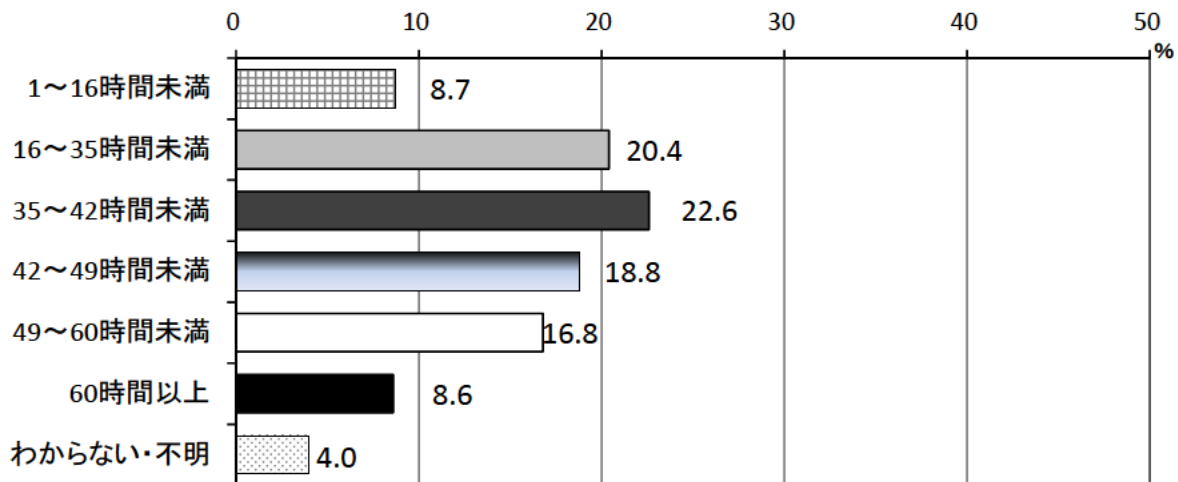
通常、1週間に働く時間(残業時間を含み、通勤時間は除く)はどのくらいですか。

問5-2

➤ 1週間の平均的な就業時間

- 1週間の平均的な就業時間は、「35～42時間未満」が22.6%で最も高く、次いで「16～35時間未満」(20.4%)、「42～49時間未満」(18.8%)の順となっています。

図表 2-3-12 一週間の平均的な就業時間

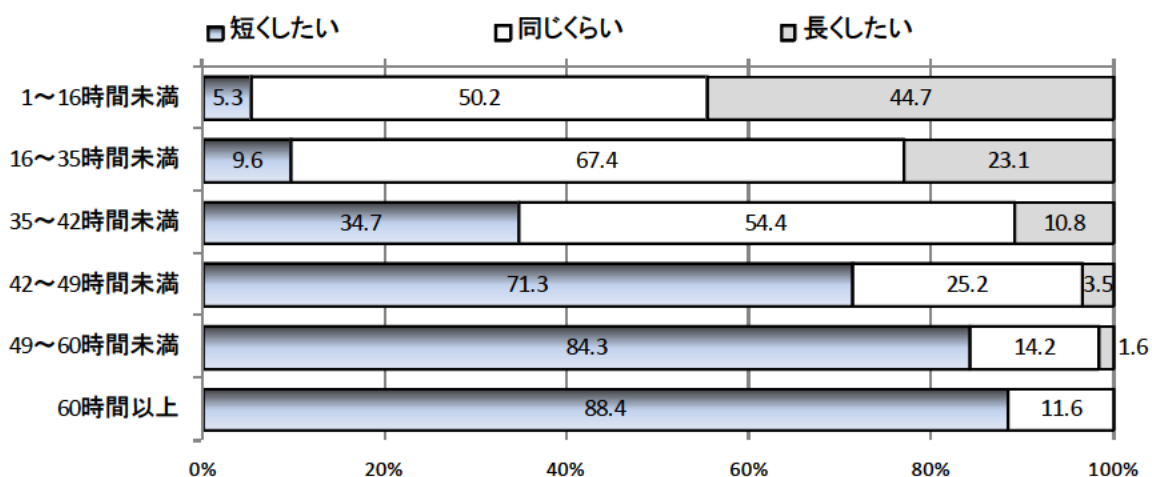


➤ 就業時間の希望と現状（参考集計）

○ 就業時間の希望（問3）と現状（問5-2）との関係を見ると、以下のとおりです。

- ・現在の就業時間が1～16時間未満の層は、「短くしたい（働きたくない）」を希望する割合が5.3%、「同じくらい（1～16時間未満）」が50.2%、「長くしたい（16時間以上）」が44.7%となっています。
- ・現在の就業時間が16～35時間未満の層は、「短くしたい（働きたくない～16時間未満）」が9.6%、「同じくらい（16～35時間未満）」が67.4%、「長くしたい（35時間以上）」が23.1%となっています。
- ・現在の就業時間が35～42時間未満の層は、「短くしたい（働きたくない～35時間未満）」が34.7%、「同じくらい（35～42時間未満）」が54.4%、「長くしたい（42時間以上）」が10.8%となっています。
- ・現在の就業時間が42～49時間未満の層は、「短くしたい（働きたくない～42時間未満）」が71.3%、「同じくらい（42～49時間未満）」が25.2%、「長くしたい（49時間以上）」が3.5%となっています。
- ・現在の就業時間が49～60時間未満の層は、「短くしたい（働きたくない～49時間未満）」が84.3%、「同じくらい（49～60時間未満）」が14.2%、「長くしたい（60時間以上）」が1.6%となっています。
- ・現在の就業時間が60時間以上の層は、「短くしたい（働きたくない～60時間未満）」が88.4%、「同じくらい（60時間以上）」が11.6%となっています。

図表 2-3-13 就業時間の希望と現状



※主な職業が農林水産業、自営業・自由業、正規職員、パート・アルバイト・派遣社員、その他の職業のいずれかで、かつ現在と希望の就業時間のいずれにも「わからない」以外の回答があったものを対象に集計。(n=3, 165)

※短くしたい…希望する就業時間で回答した選択肢が、現在の就業時間（問5-2）で回答した選択肢より短い区分の場合
 ※同じくらい…希望する就業時間で回答した選択肢が、現在の就業時間（問5-2）で回答した選択肢と同じ区分の場合
 ※長くしたい…希望する就業時間で回答した選択肢が、現在の就業時間（問5-2）で回答した選択肢より長い区分の場合